

閩連絡調整のため、寺尾自治会館等に市職員が配置されたが住民の反応は、閩地域の住民からは、「情報収集の一元化により、要望を速やかに、かつ、直接伝えることができた」という声があった。

閩台風第21号接近の10月22日、選挙事務所でも万歳をしていたことは不適切ではないのか。

閩不適切であったとは思わない。

閩職員が徹夜対応した、10月23日午前市長は何をしていたのか。

閩午前8時ごろ、秘書室長からの報告を受けた後、睡眠をとっていなかった。ので、仮眠をとり、11時半過ぎに登庁した。

閩被災者への義援金は約1300万円、市長の2月の退職金は2300万円だが、これを寄附し、給与返上し無償奉仕したかどうか。

閩そのような考えはない。閩市長は10月23日朝6時

に職員から連絡を受けたにもかかわらず、大規模ではないだろうと判断したが、市長の中で大規模の範囲は。

閩何とも言いようがないが、今回の報告を受けた時点では、この地域で起こりうる被災から、それほどかけ離れているとは受け止めなかった。

閩市長は10月24日午後1時に寺尾の状況を確認した後、なぜ24日のうちに現地へ行かなかったのか。

閩要望活動のため、国・県に出向いており、車の中でフェイスブックを見た記憶がある。5時近くには終わったが、今となっては、そのまま現地へ行けばよかつたと思っている。その時点では、既に排水も終わっているとの思いから判断をした記憶がある。



市政報告

今定例会最終日（12月22日）に、市政の重要事項として次のとおり報告を受けました。

個人情報を含む外付けハードディスクの紛失について

1 事故の概要

平成29年12月18日に使用不能となった外付けハードディスクが、所在不明となったことが判明した。

当該ハードディスクは、データのバックアップ用として使用していたが、平成26年6月に故障のため、使用を中止したものであり、使用期間中(平成24年1月～平成26年6月)に保存した滞納処分等に関する延べ38000人以上の個人情報が含まれていると見込まれる。

当該ハードディスクを他の金属廃棄物と併せて誤廃棄したと考えられる。現時点において、個人情報流出した形跡は確認できていない。

2 事故の経緯

平成29年11月16日から、廃棄に向けた復元不可能な処理(物理的な破壊)に着手したが、金属部分の破壊が困難であったことから、平成29年11月20日に破壊処理を中断し、他の金属廃棄物と一緒に事務室内に保管。後日、資源化センターへ処分を依頼する予定であった。平成29年12月18日に所在不明が判明した。

3 事故発覚後の対応

<平成29年12月18日～20日>

庁内での報告、当該ハードディスクに記録されていた内容の確認、検索等の対応を行う。

<平成29年12月20日>

川越警察署へ連絡し、遺失届を提出。内閣官房、総務省および埼玉県に対しインシデント報告を行う。

4 事故の原因

使用不能となった時点で速やかに、復元不可能な処理を施し廃棄すべきであったが、迅速な対応を怠ったとともに、所在不明に至るまでの間の保管方法が不適切であったことが原因と考えられる。

5 再発防止に向けた今後の取り組み

全庁的に、記録された情報が復元されないよう粉砕して廃棄することや情報の施錠可能な場所での保管など情報のセキュリティに関する再啓発を行うとともに、個人情報の適正な管理を徹底する。

市政報告  
個人情報を含む外付けハードディスクの紛失  
【政晴会】【民進党】

閩紛失したハードディスクの暗号化等の対策はされていたのか伺う。

閩情報セキュリティ監査等の実施状況は。

閩当該機器にパスワード設定や暗号化処理はなされていなかったが、保存情報には、パスワード設定を施したものもある。閩個人情報が流出する前に、対象者に連絡をして、注意を促す等の対策が必要ではないか。

閩全職員を対象に、年1回情報セキュリティセーフチェックを行い、所属別に結果を通知し、指導をしている。実地調査は行っていないが、情報システムの導入・更新の際に、情報化推進会議において情報セキュリティ対策等の指導・助言を行っている。

閩今後、個人情報の流出の形跡が見られた場合、適切に対応していきたい。閩今後、データの保管や廃棄をマニュアルに沿って適正に運用するために、どのような改善を行うのか伺う。

閩まずは「情報セキュリティポリシー」の遵守徹底を図りたいと考えている。条例の制定については、他市の状況等を含めて研究していきたいと考えている。

閩早急に全庁的な調査を行い、「情報セキュリティポリシー」にのっとった運用ができていないものは、使用を中止、もしくはセキュリティ機能の高い場所での集約管理に改める等の対策を行う。

